

(市長答弁)

西藤議員 1001 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局 No.1

質疑要旨 尼崎城の再建などのまちづくりは、5年前の「目標」や「ビジョン」に対してブレはないのか。

答弁要旨

平成25年2月の都市計画マスタープランのインタビューで、私は、「働きやすい、そして住み続けたいまち。また、遊びに来たいと思ってもらえるような尼崎にしたい」と申し上げました。その考え方は、平成25年度からスタートした総合計画にも反映されており、今もまちづくりの基本的な考え方としているところです。

以上

質問要旨

幹線道路の改修工事の計画はあるが、生活道路の長期改修工事の計画はあるのか。

答弁要旨

市内における幹線道路の補修工事は、車両の通行量も多いことから劣化進行も早いため、定期的に行う路面性状調査、職員によるパトロール及び市民からの通報などにより、路線単位での舗裝修繕計画を策定して予防保全に努めているところでございます。

一方、生活道路においては、幹線道路と比べると交通量も限られており、また舗装の劣化進行も遅く、部分的な劣化が点在していることが多いため、限られた財源の中では、部分的な補修のみを行い、地下埋設物管などの道路掘削工事に併せて、全体的な補修を行うなどの対応が合理的と考えており、長期修繕計画は策定しておりません。

(次ページへ続く)

なお、先日、南七松町の浜田排水路横の道路で起こった陥没事故により多大なるご心配、ご迷惑をおかけしておりますが、今後もこのような緊急時には迅速な対応を徹底していくとともに、点検にも努めてまいります。

以上

西藤議員 2001 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局 No.1

質疑要旨 尼崎城から歴史館機能、商店街などへの導線は、どのように考えているのか。

答弁要旨

尼崎城など目的地となる施設への案内や、商店街など地区内の周遊を促していくため、また歴史や文化、さまざまな魅力を伝えるため、仕様や意匠を統一したわかりやすい観光案内情報板を当該地区内に効果的に設置していくこととしています。

今年度、観光案内情報板の整備に係る基本計画やエリア戦略を策定するなかで、市民の意見(ワークショップ)も聞きながら尼崎城等への導線や周遊ルートを定めてまいります。

阪神尼崎駅の南側一帯には歴史的な魅力が、北側には主に商店街などまちの魅力がそれぞれ詰まっていますので、多くの来訪者が周遊することでにぎわいの創出・消費需要の喚起・経済活動の活性化につなげてまいります。

以上

西藤議員 2002 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局 No.1

質疑要旨 尼崎城一枚瓦寄附の金額と件数はいくらか。

また、寄附を募る目的に十分足りるだけ集まったのか。

答弁要旨

平成30年5月31日で募集を終了した「尼崎城一枚瓦寄附」は、3,141件・9,425千円で、平成30年11月末日まで募集する「一口城主寄附」や「ふるさと納税(みんなの尼崎城基金選択分)」をあわせた寄附全体では、平成30年6月5日現在で、118,541千円となっております。

みんなの尼崎城基金の平成30年度末での額は、昨年度の収益事業からの増額分1億円も合わせて、約2億8千万円を見込んでおり、そのうち、平成30年度に実施する内部展示等の財源として約1億3千万円を充当した残りの約1億5千万円を展示物の更新や大規模修繕等の財源に活用していきたいと考えております。

また、引き続き、多くの方々に関心を持っていただきやすい寄附制度やお城友の会(ファンクラブ)などを設けることにより、将来的な費用にも備えられるよう十分工夫してまいります。

(以上)

西藤議員 2003 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局 No.1

質疑要旨 尼崎城に隣接して流れる庄下川に屋形船を走
らせてはどうか。

答弁要旨

観光地域づくりの重点取組地域には、再建される尼崎城や趣きのある街並みを残す寺町、活気に溢れる商店街等、様々な地域資源が集積されています。

かつて尼崎城の外堀で、昭和初期にかき船が浮かんでいた庄下川もその1つであると考えております。屋形船など動力船の運行につきましては、水深など河川管理上、様々な困難な条件がありますが、船だんじりの再現の例もあり、例えば手こぎボートやたらい舟などによる庄下川の活用の可能性については、他都市事例も参考にしながら検討してまいります。

以上

西藤議員 2004 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局 No.1
質疑要旨 民間事業者などと融合して河川敷にカフェや
川床を設置すればどうか。

答弁要旨

近年、河川法改正で一定の条件の下、河川敷地において物販行為、オープンカフェ、イベントなどの実施が認められるようになりました。

尼崎城址公園付近の庄下川につきましては、河川敷を遊歩道として利用しており、幅員も狭くこのような商業利用が困難な状況です。

尼崎城周辺には、庄下川やお城を見ることができるペDESTリアンデッキや、中央公園などのオープンスペースもありますので、これらの活用を検討するなど、阪神尼崎駅周辺で賑わいを創出できるよう取り組んでまいります。

以上

西藤議員 2005 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局 No.1

質疑要旨 土曜日は、尼崎城の入館料を小中学生は無料にしてはどうか

答弁要旨

尼崎城の入城料につきましては、議会をはじめ市民の方々から、城の維持管理経費に市税をあてるべきではないとのご意見もいただいております、出来る限り入城料で賄うことを前提として設定しております。

一方で、尼崎城の内部展示には、わがまちの歴史・文化に触れる様々なコンテンツを予定しており、シビックプライドを醸成する観点から、たくさんの市内の子ども達に来城いただきたいと考えております。

こうしたことから、2月議会でも答弁しましたように、他都市の事例なども参考にしながら、市内の子ども達をイベントPRをかねて無料で尼崎城に招待するなど、現在検討しているところでございます。

以上

西藤議員 2006 作成部局 都市整備局 No.1

質問要旨 尼崎城整備の目的を達成するためにも、
庄下川のクリーン化を視野に入れてはどう
か。

答弁要旨

庄下川につきましては、平成4年度から6年度にかけて、水質浄化短期対策事業に取り組み、その後も引き続きヘドロの浚渫や、水の流れを創出するためのポンプの更新などを河川管理者である県と連携を図りながら取組を進めてきており、現在では一定の水質改善が図られています。

また、ポイ捨てごみなどの浮ごみにつきましては、県と協力しながら清掃を実施するとともに、ラブリバー庄下川作戦など市民や事業者との協働による清掃活動にも取り組んでいるところです。

議員ご質問のように、阪神尼崎駅周辺は多くの人目に付く場所であることから、今後も引き続き、関係機関はもとより市民や事業者との連携を密に図り、河川環境の向上に努めるとともに、尼崎城関連のイベント等と合わせた清掃活動などの取組についても、検討してまいります。

以上

西藤議員 2007 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局 No.1

質疑要旨 尼崎城や観光に係る催し物で具体的な企画は決まっているか。

答弁要旨

来年3月に一般公開を予定している尼崎城は、「来て、見て、使って」楽しめるお城に、またお城を含め地域全体を巡って楽しんでいただけるよう、現在、イベントや企画の内容を検討、調整しているところでございます。

尼崎城では、コンサート、寄席、講演会などを、城址公園では観桜会や観梅会など四季折々に咲く花を楽しむ催し、グルメ等マルシェ、親子連れを対象にしたイベント、ライトアップイベント、楽市楽座等を検討しています。

また、6月17日に第2回目を開催するあまがさき城下町フェスティバルの継続開催に加え、お城まつり、地元で活動している方々と連携したイベントの開催も検討を進めているところです。

いずれにいたしましても、詳細が決まりましたら、積極的なPRに努め、多くの方に、何度でも来たくなる尼崎城を実現できるよう取り組んでいきます。 (以上)

西藤議員 2009 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局 No.1

質疑要旨 春は桜や新緑、夏と冬はライトアップとキャンド

ルロード、秋は紅葉で集客し、阪神尼崎駅から商店

街、庄下川、尼崎城を周遊できるようにしてはどうか。

答弁要旨

尼崎城址公園では、芝生広場を活用したイベントが開催されるだけでなく、四季折々に花が咲くとともに、夜間には尼崎城をライトアップするなど、様々な形で楽しんでいただけるものとなっており、多くの方に来園いただきたいと考えております。

こうした城址公園への来園を観光地域づくりで掲げる稼ぐ力の向上につなげていくためには、寺町や商店街などへと誘導していくことが必要不可欠であることから、ご提案のようなキャンドルロードなどの灯りの活用も含め、あまがさき観光局をはじめ、商店街や地元の皆さんとともに、効果的な周遊施策を実施してまいります。

以上

西藤議員 2010 作成部局 ひと咲きまち咲き担当局 No.1

質疑要旨 観光バスの乗車や下車の停車場所は決まったか。

答弁要旨

観光バスで来られる場合の乗降場所は、阪神電鉄尼崎駅南側のロータリーなど、安全面や法令面の観点を含め、現在、関係者との調整を進めているところです。

また、観光中のバス待機場は、民間事業者の協力も得られるよう、現在、調整を進めているところでございます。

以上

質問要旨

道路の補修は、これまで通り住民や議員が気付いた都度毎に、担当課に報告をすればよいのか。

答弁要旨

道路の補修については、定期的な調査や職員によるパトロールに加え、市民からの通報も含めた情報をシステムによりデータ処理し、職員全体で情報共有し総合的に判断できる仕組みを構築しております。また、その対応については進捗状況や補修工事の完了などの情報を通報者に回答もいたしております。

今後も、普段から道路を利用されている市民からの情報も、補修を判断するうえで大切なものと考えております。

以上